

予算特別委員会

●令和4年度養老町一般会計予算

問 オンデマンドバス運行事業費について、オンデマンドバスを買い替える理由は。

答 現在ハイエース4台、セレナ2台の計6台で運行しているが、セレナの走行距離は23万キロとなり今年度に不具合が多く出ているため、セレナ2台を買い替える。ハイエースについても計画的に買い替えを進めていく。

問 いじめ問題再調査委員会を開催するかどうかを判断する者は。また、令和3年度の開催実績は。

答 教育委員会が開催する「いじめ防止等専門委員会」の調査結果を受け、町長が必要であると認める場合開催する。

問 名神高速道路SAでふるさと納税専用のブースを設置する考えは。

答 直売所で直接返礼品を渡せるメリットはあると思うので、返礼品提供事業者の通常販売されているところにQRコードを設置可能かということや、直接申し込みできるシステムについて調査研究していきたい。

問 ふるさと納税の事務に養老の郷づくり会社を活用する考えは。

答 養老の郷づくり会社は事業母体があるが現在は活動していないため、今後提案していきたい。

問 婚活支援事業の新婚生活を支援するための補助金の内容は。

答 夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得が400万円未満の夫婦が新規に住宅を購入した場合等、2人とも39歳以下であれば30万円、29歳以下であれば60万円の補助金を交付するもの。

問 臨時特別給付金補足支給事業について、子育て世帯の臨時特別給付金の対象外となる世帯の身は。

答 令和4年4月1日生まれの児童が対象である。理由としては、臨時特別給付金は令和4年3月31日生まれまでが対象であるが、4月1日生まれまでが同学年になるため、不公平を無くすために対象とした。

問 南濃衛生施設の新施設建設に関連した予算増額の理由は。

答 し尿処理施設については、令和3年度に旧施設の解体、仮設工事を行い、令和4年度に建屋を完成させる予定である。全体で36億8500万円かかり、令和4年度は建屋と機械設備で19億円程の出来高となるため、養老町の負担分も増えている。

問 私立保育所等運営費補助金について、処遇改善に関する補助金の内容は。

答 金額については、国が設定した単価と園児数により算出している。なお、園から町に事業計画を提出してもらい、町が補助金を支払った後に実績報告書を提出してもらう。

問 子ども家庭総合支援拠点事業について、支援拠点の設置場所と会計年度任用職員を配置する人数は。

答 支援拠点は子ども課内に設置し、資格のある職員を常時2名配置する必要があるため、うち1名は会計年度任用職員としたい。

問 ごみの回収事業について、ごみ袋のサイズや形状の検討は。

答 現在、レジ袋のような持ち手を付けたものを試作している。なお、価格は据え置きで検討している。

問 食肉基幹市場建設促進事業費の用地取得支援業務の内容は。

答 候補地を決定する段階において、用地の取得を速やかに行うため、法的な手続きをはじめ用地取得に係る全般的な支援業務を委託するもの。

問 荒廃農地等利活用促進事業は令和4年度は取り組む団体が無いため事業休止となったが、今後の耕作放棄地の解消を進める方法は。

答 農業委員会でも荒廃農地の削減に努めるため、毎年計画的に現地調査を行っている。少しでも削減できるよう努力していきたい。

問 プレミアム付き商品券の今後の発行方法は。

答 今後十分な調査を行い、商工会とも協議をして、広く色々な事業者の方にご利用頂けるような方策を取れるよう検討したい。

問 養老町老朽化危険空家除却事業の内容は。

答 通学路に面した空家を解体する場合に30万円を限度とし、県と町とで2分の1ずつ補助するもので、令和3年度実績としては1件で30万円の補

助を行った。なお、県の方では通学路と限定していないことや、通学路以外の空家も何とかしてほしいという問い合わせがあることから、今後検討していきたい。

問 新たに創設される「養老町消防団運営交付金」の具体的内容は。

答 消防審議会でも審議して頂いた件だが、これまで分団に機械訓練手当てとして支給していたものを交付金として支給させて頂く。

要望事項

使われなくなった消防用器具庫等の撤去について、補助対象になるよう検討して欲しいと要望しました。

問 小学校情報化推進事業について、ギガスクール構想のA・D・Rの概要は。

答 インターネット経由でアクセスして利用する学習ドリルを導入し、一人一人が理解度や習熟度に応じた教材を提供することで、個別最適化した学習が可能となるよう環境整備を整えることを目的に導入するもの。

問 学校給食の拠点化方式の進捗状況は。

答 現在、配達業務については準備段階に入っており、令和4年9月を目途に養老小学校を拠点校としてスタートできるような体制を整えている。

問 留守家庭指導教室をいわゆる文科省が求めている6年生まで拡大する考えは。

答 夏休み以外の学校がある時以外については、児童が日頃使う教室を留守家庭に使うことができず、空き教室が無いため対象を拡大することはできない。公民館等を活用して地域で子供達を見て頂くことも考えられるが実現は難しい。他市町の状況を調べながらどんな方法があるかを検討している。

●令和4年度養老町国民健康保険特別会計予算

問 激変緩和措置の今後の予定は。

答 激変緩和措置は令和5年度まで行われる予定。なお、令和3年度の激変緩和措置の金額については、養老町では1億5613万8528円である。

●令和4年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算

問 町の償還期間は終了したとのことであるが、今後の本特別会計の閉鎖等の方向性は。

答 予算規模も小さくなってきているが、町が貸し付けている方への対応を行うため、現段階での方向性は示すことができない。今後、検討していきたい。

●令和4年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

問 老朽化した屋根を修繕する予定は。

答 令和4年度で屋根の防水改修工事を予定している。

●令和4年度養老町公共下水道事業会計予算

問 農業集落排水等接続検討業務の内容は。

答 全国的に下水道に関する施設の統合が検討されており、養老町では公共下水道、農業集落排水事業、コミュニティプラントを公共下水道に統合することを視野に入れ、将来、何が一番いいのかを検討していくための業務である。

●令和4年度養老町介護保険事業特別会計予算

問 被保険者の出現率の状況は。

答 令和2年度の認定率としては、全国平均18.7%のところ、養老町は16.8%であった。なお、現在、コロナ前と変わることなく介護認定は行っている。

